

P8310596.JPG 2019/04/19

慶応二年五月二十六日から慶応二年五月二十九日

P8310596_right

矢島(大)初めて来り面す、松盛亭稽古に来る、出 殿詰番長崎煙草代を同局へ同心
を以差出す土浦侯より乾白魚一袋贈らる、藤山稽古に来る、保三来る英国留学願書
差出方の□の義による

廿七日 酉 雨午前止猶断続

小林(□)初て来り面す、凡、鈴木(永)来り志願の義、申入る、菰田(謙)来り面す、柳亭来る御買上
具足

の義による、長蔵来る、腰刀研方の義による、須崎(常)来る、京地佐久間小より雁書届く、出 殿
藤山へ洋草花五種を贈りせし旨、妻俄に病に罹り初更(※)前医小川を迎え又送り返す、仏国
和春より朝比奈甲州連名宛にて急速面晤いたし度旨の書状、金港鎮台より届く
廿八日 戌 晴

P8310596_left

栗原(□)、斉藤(忠)、田村(貞)来る何れも辞して不面、長蔵来る、鮫目(□)を托し遣す、柳斎稽古に
来る、医道玄診察に来る、加藩医大津道(□)義、周助方へ来り、君侯の需なるよしにて、
製氷器一(□)を請へり製菓を添え貸し遣す、出 殿、清仁へ托し坂地長坂へ過日の返書
酬品さし立方を頼む、金八、文助同行にて来る(□)を取(□)也

廿九日 亥 晴雲緋

由井図書来り面す、熱中談也、須崎(常)来る、内願の筋咄有之、出 殿、意大利亞(イタリヤ)
条約の義

に付甲州(□)太郎同道斉海寺カシオン方へ行き引合、薄晩前帰邸、妻病平熱に付医道順方へ
縋子(もじ*1)糯米(もちごめ)地洋画一枚遣す、正覚稽古に来る、保三来り越国産菓越雪一筥
贈らる

*1: 縋子(もじ) 麻糸で目を粗く織った布

*2: 初更(しよこう) 午後七時から九時過ぎ頃

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。土産